

自己評価票

地域密着型サービス自己評価項目

(評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

【記入方法】

- 複数のユニットを持つ認知症対応型共同生活介護事業所の場合、各ユニットごとに、管理者が介護職員と協議の上記入してください。
- 次の項目は、小規模多機能居宅介護事業所のみ記入してください。
 - 項目番号23 ○初期に築く本人との信頼関係
 - 項目番号24 ○初期に築く家族との信頼関係
 - 項目番号25 ○初期対応の見極めと支援
 - 項目番号26 ○馴染みながらのサービス利用
 - 項目番号39 ○事業所の多機能性を活かした支援
- 次の項目は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入してください。
 - 項目番号53 ○身だしなみやおしゃれの支援
 - 項目番号59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援
 - 項目番号60 ○お金の所持や使うことの支援
 - 項目番号61 ○日常的な外出支援
 - 項目番号62 ○普段行けない場所への外出支援
 - 項目番号63 ○電話や手紙の支援
 - 項目番号64 ○家族や馴染みの人の訪問

【用語について】

- 管理者＝指定事業者としての届出上の管理者とする。「管理者」には、管理者不在の場合にこれを補佐する者を含む。
- 職員＝「職員」には、管理者及び非常勤職員を含む。

事業所名 グループホーム ぶなの森

(ユニット名) 1階

記入者(管理者)
氏名 菅野 真由美

評価完了日 平成21年 2月 3日

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開放的で地域に根付くグループホームを理念の1つにあげ、地域との関係が途絶えることなくその人らしい生活が継続できるよう実践し取り組んでいる。	○	今後も継続し地域の中でその人らしく暮らし続けることを支援していく。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	定例会議や日々の業務の中で理念に基づいたサービスが実践されているか確認し共有が図れるよう取り組んでいる。また、新人職員採用時には法人およびグループホームの理念を伝え理解してもらっている。	○	職員一人ひとりが理念に基づいた姿勢で関りが持てるよう今後も努力していく。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ご家族様には入所契約時に説明している。外部者が一目で判るよう玄関先に掲示したり、町内集会等に参加することにより地域住民の方々に理念に基づき地域の中で関り生活する意義を伝えた。地域向け広報誌の発行までには及んでいない。	○	地域の方々に更なる理解を得るために広報誌の回覧・町内会行事への参加、施設行事への招待などを引き続き行っていく。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣者が気軽に立ち寄ることはないが、散歩や畑へ外出したときなど挨拶を交わす等の声の掛け合いを大切にしている。しかし、近隣は大病院、賃貸住宅に囲まれており、日中行きかう機会が少ない。	○	気軽に立ち寄れるよう、また日常的な付き合いができるよう近隣者との関係を深めていく。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域小学校へ入居者様と学校行事に出向いたり、施設側の行事に招待したり小学生との交流を継続し大切にしている。また、町内会集会を始め清掃活動・芋煮会・球技大会・盆踊り等の地域活動にも参加し交流を深めている。	○	今後も行事や地域活動に参加し交流を図っていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	入居者様の生活を基盤とし、職員一人ひとりがキャラバンメイトとしての役割を担い、地域高齢者の生活に役立つことがないか検討している。	○	形として残るような実績はないものの、職員一人ひとりが地域に貢献できることはないか、役立つことは何かを考え体制作りにも努めている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価の意義を一人ひとり理解している。昨年度の結果を基にリーダー及び各委員会が中心となり具体的な改善策を追求し取り組んでいる。	○	ケアの質の向上に繋げていくため、常に問題意識を持ちながら改善に向け取り組んでいる。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では取り組み状況や今後の予定などを報告し施設の現状を把握して頂いている。ひやり・はっと、自己・外部評価の結果をお伝えし、頂いた意見を活かせるよう努めている。以前と比較すると参加者からの意見や要望が多く挙げられている。	○	多くの意見が頂けるよう協力体制を図っていく。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市が主催する福祉フェスティバルに今年度も参加し、市民の方々を対象にグループホームについて説明し情報提供している。管理者が市のキャラバンメイトに登録しており依頼があれば出張講座に出向いている。	○	今後も行政からの依頼や要望には随時協力していく。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	外部研修に参加し、制度に関する資料が閲覧できるようにしている。現在、制度を必要とする対象者はいないも必要時には活用できるよう支援していく。	○	制度の理解が深められるよう順次外部研修へ参加する。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	今年度も施設内研修の場で学ぶ機会を設け意識向上に努めている。言葉の虐待を中心に取り組み一人ひとりが注意を払いながら日々のケアに努めている。	○	時には配慮のない言葉づかいが聞かれることもあるが、引き続き職員同士で注意、喚起を払っていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		<p>今後も継続し対応する。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	○	<p>介護相談員の意見も重視し、入居者様の意見や言動を真摯に受け止めサービスの質の向上を目指していく。些細なことでも報告書を挙げ、改善に向け話し合い日々のケアに繁榮させていく。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	○	<p>今後も継続し対応していく。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	○	<p>ご家族様からより一層多くの意見や要望が出されるよう信頼関係、雰囲気作りに努めていく。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	○	<p>今後も継続していく。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	○	<p>入居者様に支障が出ないように、適切な人員配置を行っていく。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動してきた職員・新人職員には混乱が起きないように生活暦や習慣等の引継ぎを担当者同士で行う一方、他職員も入居者様の直後の精神面の安定が図れるよう支援している。離職者に関しては入居者様の心身状態に応じて説明している。		今後も継続していく。
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の段階に応じた外部研修に積極的に参加している。施設内研修を毎月実施し、外部研修報告や勉強会等を行っている。内外研修ともにレポートを提出し自己啓発に努めている。	○	施設内研修をさらに充実させ、知識・技術の向上を図ることを職員一人ひとりが認識する。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県グループホーム協会に加入しており、外部研修会等で他事業所との交流を図る機会がある。継続した情報交換が行えるよう各自がネットワーク作りに努めている。	○	職員一人ひとりが研修会に参加することの目的を認識しネットワークが広げられるよう努力する。他施設見学を取り入れた研修会を企画しサービスの質の向上を図って行きたい。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	法人全体の親睦を深める機会がある。ストレス解消の場を設定するほか、面談を設け話を聞く機会を作っている。永年勤続者には、リフレッシュを兼ねた研修旅行も企画されている。		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者は、毎週施設に訪れ職員の状況を把握している。外部研修への参加を促し各自が向上できるよう配慮している。また個別的な指導や助言もあり職員の不安解消、知識向上に働きかけている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている(小規模多機能居宅介護)		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活にて、教えて頂く場面を設定しており日々支えあう関係作りを大切にしている。	○ 今後も継続し支えあう関係作りを築いていく。

グループホーム ぶなの森 自己評価 1階

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様へ面会時に、生活のご様子を報告すると共に身体状況の変化があった際には電話連絡し報告している。	○	今後も、ご家族様の協力を得ながら共に支えていくという体制を崩さない。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	行事や誕生会などに参加して頂けるよう促したり、ご家族様とより良い関係が継続されるよう支援している。		今後も継続し実践していく。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方との関係が途絶えないよう支援している。		今後も継続し実践していく。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者様同士お互いに助け合って生活している場面が日々の生活から伺える。一人ひとりの意思も尊重しながら関係が保てるよう支援している。		今後も継続し実践していく。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去後、ご家族様に対していつでも相談可能な体制であることを伝えている。		今後も継続し実践していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様一人ひとりの行動、言動の中から思いや希望、意向を汲取るよう努めている。時にはご家族様の協力を得ながらご本人様の意向把握に努めている。	○ 今後も継続し、入居者様一人ひとりの意向に沿った支援が展開できるよう努める。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様を始めとし、入居者様の周りの方々やご本人様から情報を得、職員間で共有している。	○ 今後も入居者様について少しでも多くの情報を把握・共有し、日々の支援に役立てていく。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	入居者様の担当職員が中心となり、記録や職員間での情報交換を通して一人ひとりの現状把握に努めている。必要に応じてセンター方式を活用している。	○ 疑問点や気付いたこと、些細なことでも記録し入居者様の心身の変化を見逃さないよう努めていく。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者様の意向や、ご家族・関係者の意見をケアプランに反映させている。また、定期的にカンファレンスを行い介護計画をその都度改善している。	○ 今までの取り組みを継続しつつ、ご本人主体の観点から適したケアプランを作成しサービスの提供を行っていく。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しを行っている。状態変化時は、関係者と話し合った上で迅速に計画変更している。	○ 今後も状態に応じたケアプランを提供していく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録は誰がいつ見ても判りやすいよう記入方法を工夫し情報を共有している。ケアの実践方法や介護計画を検討する際に記録を活用している。	○	今後も継続し記録をケアに活かしていく。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている (小規模多機能居宅介護)			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	前年度に引き続き、小学生との交流事業や地区の行事に参加している。その他に施設内の行事等では必要に応じてボランティアの協力を得ている。	○	今後も地域の人々や様々な機関の協力を得ながら入居者様を支援していく。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	入居者様の意向や要望に応じ、訪問利美容サービス等、他のサービスが受けられるよう支援していく。		今後も継続し対応していく。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要に応じた対応が取れるよう関係機関の連携に努めている。	○	地域の認知症高齢者の支援、具体策を検討し協力しながら、地域住民への理解と協力が得られる体制作りに取り組んでいる。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		<p>今後も継続していく。</p>
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45			
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		<p>今後も継続していく。</p>
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		<p>今後も継続していく。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	<p>今後も継続していく。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>転居先で混乱を招かないよう、ご本人・ご家族様・ケアマネージャー・サービス事業者との話し合いを十分に持ちダメージが最小限に抑えられるよう努めている。</p>	<p>今後も継続していく。</p>
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>記録などについては、外部者の眼に触れないよう管理保管している。声かけや対応については、極力、羞恥心に配慮した言葉かけをおこなっているが、時として周囲にわかってしまうような声や態度を示していることがある。</p>	<p>○</p> <p>勉強会や日々のミーティング時に” プライバシーの確保” について具体的に確認し話し合い意識し合う。リーダーは職員の行動・言動を注意深く点検し改善に向け指導していく。</p>
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>入居者様のペースに合わせ各場面において自己決定ができるよう導き支援している。</p>	<p>今後も継続していく。</p>
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりが自分のペースで過ごせるよう、それぞれの趣味や楽しみを取り入れ、極力要望に応じた対応をしている。しかし、時として職員サイドの都合で希望に添えないこともある。</p>	<p>今後も継続していく。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援(53は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)</p>			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている（認知症対応型共同生活介護）</p>	<p>衣類の選択について、基本的には本人の意向で決めて頂いている。見守りや支援が必要な方には、本人の意向を尊重しながら手伝うようにしている。理・美容院へはご本人の希望する店舗へ出かけ要望を自分なりに出している。また、家族の協力も得ながら行っている。</p>	<p>○</p> <p>今後ご本人様の希望に添った対応ができる様努めていく。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	今後も継続していく。
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	今後も継続していく。
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		今後も継続していく。
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		今後も継続し対応していく。
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		今後も継続し対応していく。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)</p>		今後も入居者様同士の仲間意識が低迷しないよう、楽しみや張り合いのある生活を支援していく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している（認知症対応型共同生活介護）	個人の買い物購入時、支払いはご本人様に行って頂いているも、最終的な管理は職員サイドで行っている。	○	今後は、ご本人・ご家族様と相談しながら金銭管理が行えるよう支援していく。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している（認知症対応型共同生活介護）	出かけたいときに出かける事が必ずしも出来ているとは言えないが、極力希望に添って外出が出来るよう支援をしている。	○	出かけたいときに出かけられるという形で支援していく。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している（認知症対応型共同生活介護）	要望に沿って対応している。	○	一人ひとりの意向を把握しながら、ご家族様の協力も得つつ計画的な外出支援に取り組んでいきたい。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている（認知症対応型共同生活介護）	プライバシーに配慮しながら、電話を取り次いでいる。自室や事務所内で話をして頂き、必要に応じては手紙やはがき作成の援助を行っている。		今後も継続していく。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している（認知症対応型共同生活介護）	面会時間外でも臨機応変に対応している。来所しやすい雰囲気作りに努め、また、ご家族様が気軽に宿泊できる体制を整えている。		気兼ねなく来訪され、宿泊できる雰囲気を崩さない。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設内研修において勉強会を実施した。拘束の無い環境や禁止行為（言葉を含む）について、学び実践している。	○	内・外部研修を継続し、拘束による精神的・身体的ダメージについて各職員が意識を持ち続ける。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		<p>今後も継続し対応していく。</p>
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	○	<p>プライバシーに配慮しながら、入居者様の所在や様子確認をし安全に過ごして頂けるよう努めていく。</p>
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	○	<p>一人ひとりの状態を見極めながら危険防止に取り組んでいく。</p>
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	<p>今後も、事故防止検討会の継続と外部研修への参加、内部研修会等で事故防止について知識を深めていく。</p>
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	<p>職員の知識・技術が高められるよう外部研修に参加していく。定期的に施設内研修も開催する。</p>
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	<p>運営推進会議を通し地域からの協力を呼びかけていく。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ご家族様に状況説明し対応策を共に検討している。	○	個々の身体レベルを把握しご家族様と相談して事故が未然に防げるよう努める。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	普段の状態把握に努め、変化が見られた時は速やかに報告し、Dr・Nsの指示を受ける。職員間で情報を共有するため申し送りを徹底している。		今後も継続し対応していく。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬ファイルの活用を徹底し、処方内容の変更や臨時薬処方時には申し送りがされ状態観察を行っている。服薬ミスが発生しないよう最終的な服薬確認をしている。		今後も継続し対応していく。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	一人ひとりの状況把握に努め、Nsによる排便コントロールが適切に行われている。自然排便を誘発するために水分量や食事内容に配慮し、尚且つ身体を動かして頂ける取り組みをしている。		今後も継続し対応していく。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の歯磨きを促し、状態に応じて洗浄液でのうがいや口腔清拭を実施している。歯科医への受診援助を行っている。		今後も継続し対応していく。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・単分摂取量の把握を徹底して行っている。また、必要に応じて栄養補助食品などを用いている。		一人ひとりの状態に応じた支援を継続していく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	うがい、手洗いの徹底、備品などの消毒に心がけている。内部研修で感染症予防について学んだ。	○	感染症が発生しないよう手洗い・うがいの徹底を継続し、食品保存には十分な注意を払っていく。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	給食委員会を中心に、台所調理器具・食器等の衛生管理に努めている。		今後も継続し対応していく。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先に草花を植えたり、季節の飾り物をかけた工夫している。		入居者様と共に草むしりや草木の手入れを行っていく。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様の描いた絵や折り紙などを飾り季節感を出している。行事等の写真を掲示し、眼で見ても楽しむ工夫もしている。リビングでゆっくりと過ごして頂けるよう四季の花々、音響、TVにも配慮している。		今後も継続し対応していく。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	思いのまま、自由にリビングと居室を行き来して過ごしている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>83</p> <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>写真や花を飾ったり、使い慣れた家具を使用しご本人様と相談して心地よい空間作りを行っている。</p>		
<p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>排泄のにおいが気になる時は消臭剤を用いたりしている。換気に心がけ日に3度は温度・湿度チェックをし、居室においては、ご本人様の状態に応じて空調、寝具、衣類等で調整している。</p>		
<p>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>			
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人ひとりの身体機能を活かしレクリエーションや日常的作業をして頂いている。椅子の高さの調整にはクッション等を活用し安全な生活が送れるよう工夫している。</p>		
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>各居室入り口に趣味や個性を活かした名前のプレートを設置し混乱が回避できるように努めている。</p>		
<p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>ベランダには、季節ごとの花を植え、入居者様が自ら進んで水やりなどを行っている。また天候の良い日には外気浴なども楽しむ光景がある。</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない ⑤その他 ()
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない ⑤その他 ()
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ⑤その他 ()
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ⑤その他 ()
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ⑤その他 ()
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ⑤その他 ()
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ⑤その他 ()
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない ⑤その他 ()
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない ⑤その他 ()

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない ⑤その他 ()
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない ⑤その他 ()
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ⑤その他 ()
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない ⑤その他 ()

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- 医療連携が図られており、DrやNsにいつでも相談が可能な状況である。その事により職員は安心して業務に従事できる。
- 若い職員が多い施設でまだまだ未熟な点もあるが、暖かく優しい姿勢で臨んでおり、個々に自己研鑽する姿勢がある。
- 「食に関して」：買出しや調理、盛り付けまで全て入居者様と一緒にいき、時にご家族様の協力も得て家庭的な雰囲気を出している。
- 買い物に出ることで、流行の物・季節感・社会の移り変わりを感じ取って頂いている。また、犬の散歩に出かけることも良いリフレッシュになっている。
- 各入居者様が喜怒哀楽を表出できるよう言葉かけや雰囲気作りに配慮している。